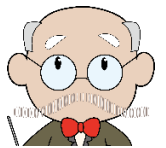


## かさほこえびす 笠鉾恵比須(6/5~7/2まで展示)

恵比須は、七福神の一人で、商家の神、漁業の神、家の神として信仰されているんじゃ。ちなみに七福神は、インド・中国・日本で信仰されている神から7人選び、室町時代に整えられたんじゃが、日本代表が恵比須なんじゃよ。

大きな鯛に乗って福々しく笑っておられる恵比須さん。見てるワシらも幸せがやってくる気分になるわい。実は恵比須の飾りになったのは、江戸時代の明和元年(1764)で、波の台と鯛の中から明和元年に八代の大工が14歳で作ったことが書いてあったんじゃ。それまでは「桐に鳳凰」の飾りだったんじゃよ。

でんでん館の2階に行ってみると、恵比須さんが真正面に見えるんじゃ。上から眺める笠鉾もなかなかじゃよ。



## 今月の水引幕

くろひろーどじうなばらくんひちようもようぬいみずひさまく  
黒天鷲絨地海原群飛蝶模様繡水引幕

でんでん館では、毎月1枚ずつ笠鉾の水引幕を紹介しています



(平成10年度新調)

笠鉾本蝶蕪の水引幕です。本蝶蕪は、本町を「本」と「蝶」(町はちょうとも読む)で表し、本蝶蕪で本町が栄えるようにという願いが込められています。町の名前にこだわった本町の笠鉾には、いろいろなところに蝶の装飾が見られます。水引幕も、波間を飛ぶ蝶の模様です。

この水引幕は、平成の大修理の際に新調されました。新調にあたっては、それまで使用されていた幕とその下絵、町に残る水引幕の包み紙などが参考にされました。

一匹一匹の蝶の細かい刺繍をじっくりと近くで見えてね。



## 学校/団体見学 ご相談ください!

お祭りでんでん館には、八代の祭りや民俗芸能のスペシャリストである学芸員がいます!学習や研修のテーマに沿った講話や展示案内ができます。昨年から好評をいただき、先日は代陽小6年生のみなさんが学習に来られました。ご希望される先生方・団体様は、お電話等でご相談ください。



## 民俗芸能情報

### 平家いずみお茶まつり

お茶やしいたけ、たけのこなど特産品の販売やステージイベントなどで盛り上がります。ステージイベントには、**樫木神楽保存会の皆さんによる神楽の披露**が予定されています!ぜひ遊びにしてみてください♪

と き 6月5日(日) 9時~15時

と ころ ふれあいセンターいずみ

問い合わせ 平家いずみお茶まつり実行委員会  
事務局 0965-67-2111

※新型コロナウイルスの影響により内容の変更、又は、中止となる場合もあります